

〈目標〉 計画期間：～令和12年3月31日

①スポーツの裾野拡大（スポーツ教室やイベントを通して**競技の普及促進**とともに**スポーツ人口の裾野拡大**を図る）

【週1回以上のスポーツ実施率（KPI）】 R5：45.6% → R7：50.0% → R12：60.0%
【スポーツ少年団の総加入団員数（KPI）】 R5：1,586人 → R7：1,600人 → R12：1,800人

②スポーツによる賑わいの創出（**スポーツチームを応援する機運を醸成**し、賑わいを創出することで**市全体を盛り上げる**）

【1年間のスポーツ観戦者数（KPI）】 R5：11,477人 → R7：18,000人 → R12：30,000人
【スポーツ振興に関する市民満足度（KPI）】 R5：3.14点 → R7：3.24点 → R12：3.50点

〈PRポイント〉

◎プロ・実業団スポーツチームとの連携

市内等にある5つの**スポーツチームと連携協定**を締結し、スポーツ教室やイベントなどの**連携事業を開催**することで市民と選手の交流機会を創出するとともに、チームの発信力を生かした**市のPR活動**への協力をいただいている。

◎豊富なスポーツ資源

大規模スポーツ施設や歴史ある「**勝田全国マラソン**」、「**三浜駅伝競走大会**」など地域に根付いたスポーツイベントを開催している。

◎まちづくりを支えるスポーツ関係団体

スポーツ協会や**スポーツ少年団**、各中学校区の**地域体育部会**と**スポーツ推進委員**など、地域のスポーツ推進の一翼を担う組織があり、**スポーツによるまちづくりの土壌**となっている。

〈現状・課題〉

本市は、スポーツ協会やスポーツ少年団の会員数の減少や、「勝田全国マラソン」等を支える市民ボランティアの高齢化など、**スポーツ全体の裾野が縮小**していることが課題となっている。これらの課題を解決するためにも、多くの人にスポーツに興味・関心を持ってもらう必要があることから、本市の地域的特殊性、優位性である**プロ・実業団チームとの連携事業**及び本市が所有する**豊富なスポーツ資源をさらに活用**し、一層のスポーツによるまちづくりを推進していくことが求められている。

〈総合的な取組内容〉 ■ インナー施策

■ アウター施策

スポーツ教室関係事業の実施



選手やコーチから直接指導を受けることで、子どもたちのスポーツに取り組む意識の向上及び市内競技レベルの向上につながる。

サイン会・講演会の実施



選手と触れ合える機会を創出することで、チームの認知度向上及びホームゲーム観戦者の増加につながる。

ホームゲームの開催と盛り上げ施策



市民無料招待を実施し、観戦者数の増加を図るとともに、勝田駅前にチームの試合広告を大きく展開し、市全体でホームゲームを盛り上げる機運を醸成する。当日は市のPRブースを設置し、特産品や観光パンフレットの配布を実施する。

チームの発信力を生かした市のPR活動



チームが市の事業へボランティア協力することによる相互PR。市は協力活動をSNSで拡散。



【今後の取組】
ホームタウンスポーツチーム
連絡協議会の設立

市とチーム及びチーム同士の情報交換の場を設け、既に実施している左記の取組をさらに盛り上げるとともに、新たな連携事業の立ち上げを検討していく。また、これまでにないチーム同士の交流も活発化させる。

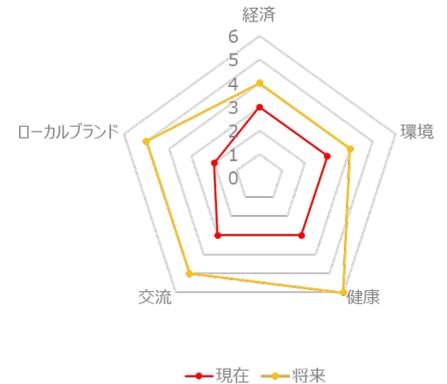


〈継続的な取組を確保できる体制（図）〉



〈セルフチェックシート〉

スポまちセルフチェック



問合せ先・電話番号

茨城県ひたちなか市民生活部スポーツ振興課
029-273-0111（内線2111）

【フォローアップ欄】令和7年度以降における計画の進捗状況